

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the CSR
Jan.2018



INDEX

1. サンシングループの経営理念とCSR
2. 管理会計をもちいた経営戦略
3. TOP MESSAGE
4. グループ社員による今月のつぶやき
5. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
6. サンシングループの企業行動基準
7. 未来形から問題を解決するソウレンホウ
8. CSR Report (品質)
9. CSR Report (環境)
10. CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

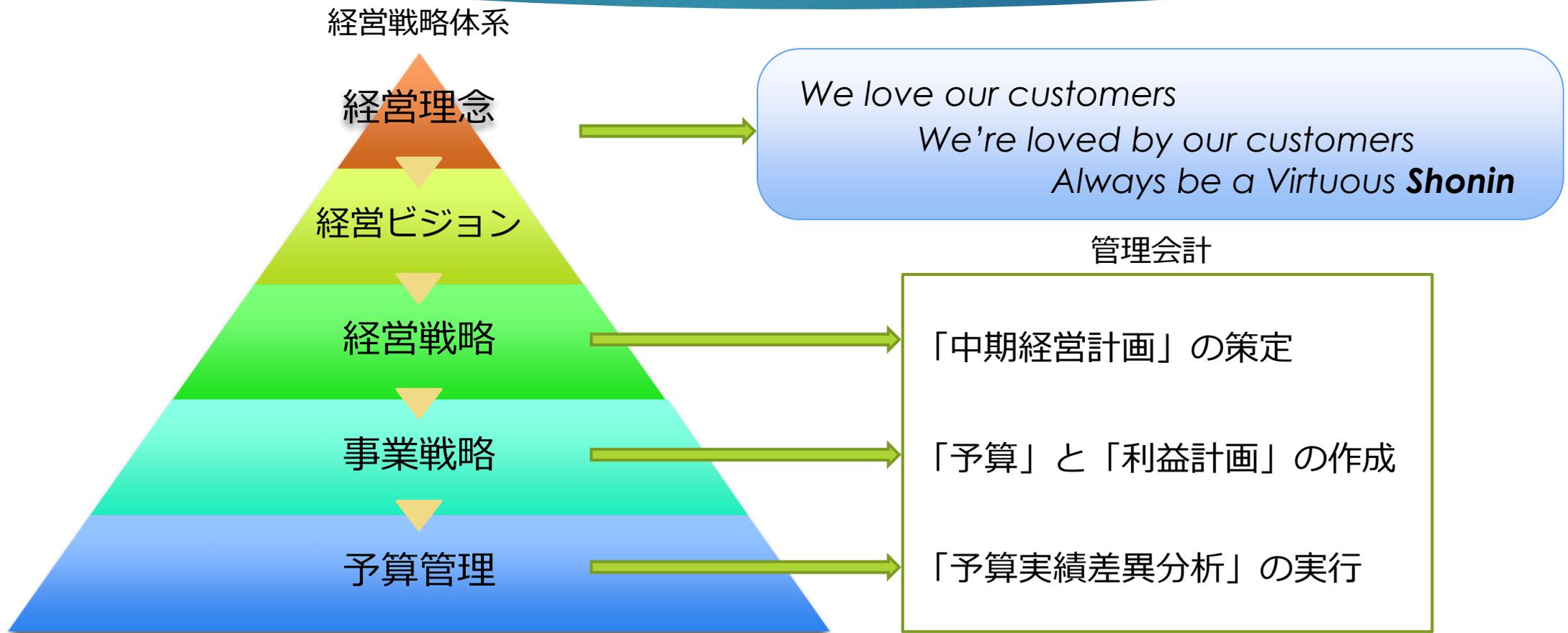
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステークホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

管理会計をもちいた経営戦略



TOP MESSAGE

米国のトランプ大統領が「パリ協定」への復帰を示唆したという。欧、露・中との政治的駆け引きにパリ協定すなわち環境問題は利用されている。政治的駆け引き、そのカードであるということは、北鮮への経済制裁、軍事的展開などと同義ということになる。環境問題＝経済制裁＝軍事行動。環境問題とはそういうものなのであるか？
トランプ含め、世界首脳はまずはこの意識を改めるべきである。

SANSHIN GROUP C.E.O.

石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

冬の電力のピークは、朝と夕方と言われております。その中で家庭で消費される電力の主なものは、暖房器具と思いますが、個人的な経験としては、エアコンのみに頼らずに足元からも温めたら、比較的快適に過ごせると思われれます。また、加湿にも気を付けると、風邪の予防にもなりますので、ご参考下さい。(J.I.)

SANSHINCentre

フランス政府が二酸化炭素の排出削減に向けて、2040年にフランス国内でのガソリン車とディーゼル車の販売を禁止するとの記事を見ました。2022年までに石炭由来の発電を止め、2025年までに原発依存率を引き下げるとのことで環境への影響について注視していきたいと思えます。(M.M.)

CSI

今年もセブ最大のお祭りシノログが1月21日に行われる予定です。携帯電話で遠隔操作しボムを爆発させる可能性が有る為、去年は前日と当日2日に渡りマクタン島とセブ市内の携帯電話を不通にしました。今年もテロが起きないように願っております。(K.S.)

SC2

「脱力系ミニマリスト生活」著者の森秋子さん。ブログが秀逸なので毎日読んでいます。「ホテルライク」「仕切り収納」などのかっこよさすらかなぐり捨てています。暗い情熱のこもった文章は脱力系というより野武士みたいな気もしますが(笑)一度読んでみてください。(M.I.)

SANSHINWest

昨今、業務効率化のためのIT化が当然となり、今後も様々なかたちが注目されていますが、昔も今も会社の資産や世の中の資源の上に成り立っています。業務において利用する者として、より意識し、効率化(=有効活用)に努めていきます。(S.Y.)

SHINKOWA

朝日工場のある千葉県で有名な成田山新勝寺へ行き、祈願をして参りました。成田山新勝寺には初めて行ったのですが、広大な敷地内に社や池・噴水などあり色々見てまわり、久々に歩き回りました。駐車場から往復4Km程歩きましたので、正月明けに良い運動をさせて頂きました。2018年も頑張ってください！(M.N.)

SANSHIN HongKong

Nearly 27% Indians live in Urban areas. Urbanization and Industrialization has given birth to a great number of environmental problems that need urgent attention. Over 30% of urban Indians live in Slums. Out of India's 3,245 towns and cities, only 21 have partial of full sewerage and treatment facilities. Hence, Coping with rapid urbanization is a major challenge. (P.S.)

STH

兜町の空を鳶が飛んでいたと知人から聞きました。小動物は狙われますので犬や猫を飼っている方は注意です(コーギー程度の大きさでも危ないですよ)。鳶がオフィス街である兜町にまで来なければならぬほど日本の自然環境が壊れているのかと、ちょっと暗澹とした気持ちになります。(M.I.)

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



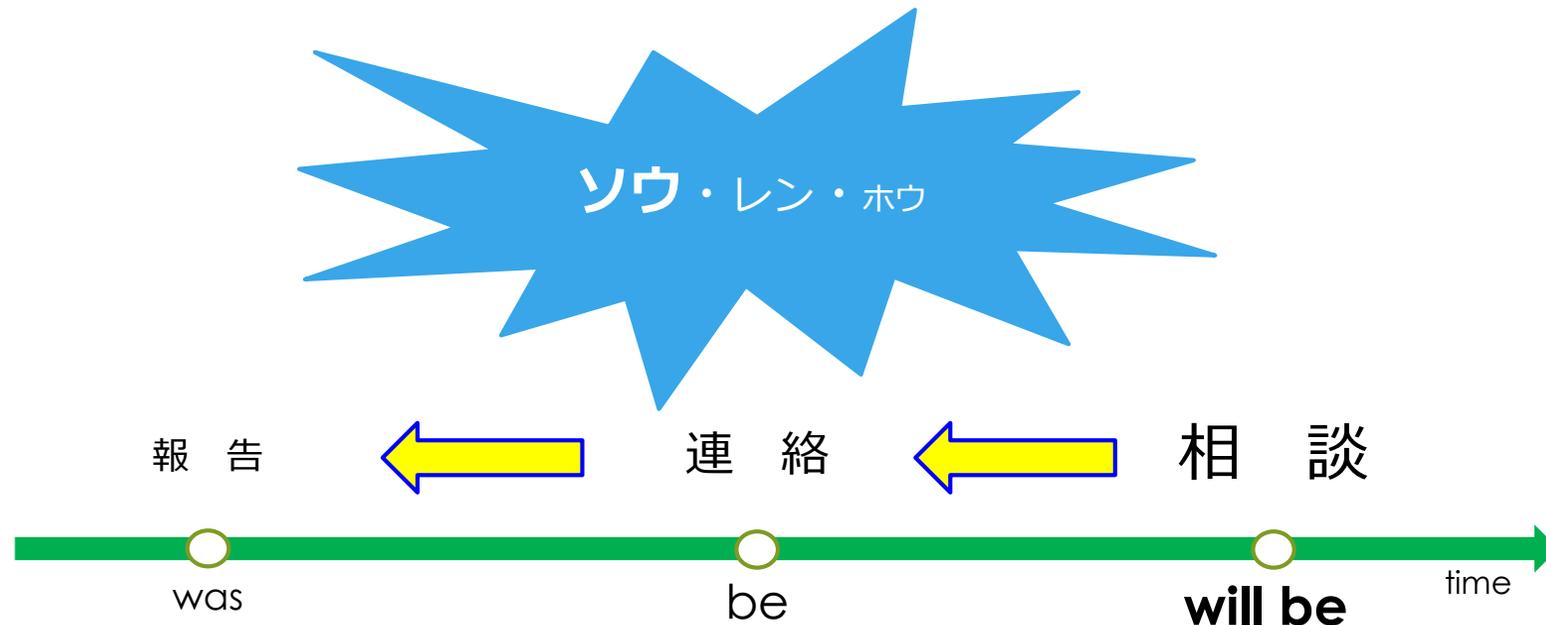
サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



CSR Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

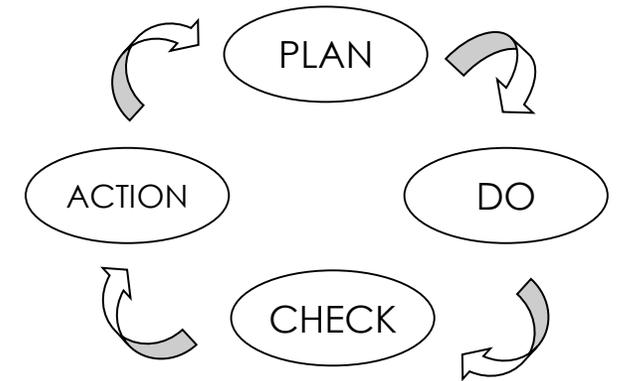
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

TOPICS

効果的な風邪の予防策

風邪予防としてマスクや手洗いを心がけている人も多いですが、対策をしているにも関わらず、具合が悪くなったことはないでしょうか。冬は体調を崩しやすい季節ということもあり、少しでも効果的な予防を実践したいものです。

■ 予防しているからと油断は禁物

風邪予防に関して科学的根拠のある予防策は多くありません。ウイルスなどは接触感染が重要であるため、ウイルスとの接触を避けることで予防できる可能性がありますが、あくまで風邪をひく可能性が減るだけです。

■ 予防策は大きくわけて2つ

1つ目は風邪の感染経路を遮断し、感染源との接触をさけることで物理的に風邪ウイルスとの接触機会を減少させること。

2つ目は風邪に対する抵抗力を高めて風邪にかからない体作りをすること。

1つ目にあたるのが「手洗い」、「うがい」、「マスクの装着」による、ウイルスとの接触をさけること。2つ目にあたるのが、「バランスの良い食事」、「適度な運動」、「良質な睡眠」の体の内部から抵抗力を上げることです。

その中でも特に重要なのは『手洗い』。風邪などの感染症は、飛沫感染だけでなく、ウイルスが付着したドアノブなどを介して感染する接触感染があります。手についたウイルスを洗い流す『手洗い』は最も効果的な予防法です。

■ 効果のある食べ物

ビタミンCは身体活動が大きい人に風邪予防効果を認めるという報告があります。またハーブの一種であるエキナセア（※）は僅かですが風邪を予防する傾向があります。また一部の乳酸菌には気道感染症の罹患率や重症度に効果を認めたとの報告もあり風邪予防効果が期待されています。



※エキナセアとは？

中央部の円錐状の種子頭部が特徴的なハーブで、北アメリカの東部と中央部でのみ生息が確認されている多年草です。ネイティブ・アメリカンに400年以上にもわたって愛用されてきた歴史を持ち、主に紅斑熱、梅毒、マラリア、ジフテリアなどの感染症の治療薬として使われていたと言われています。

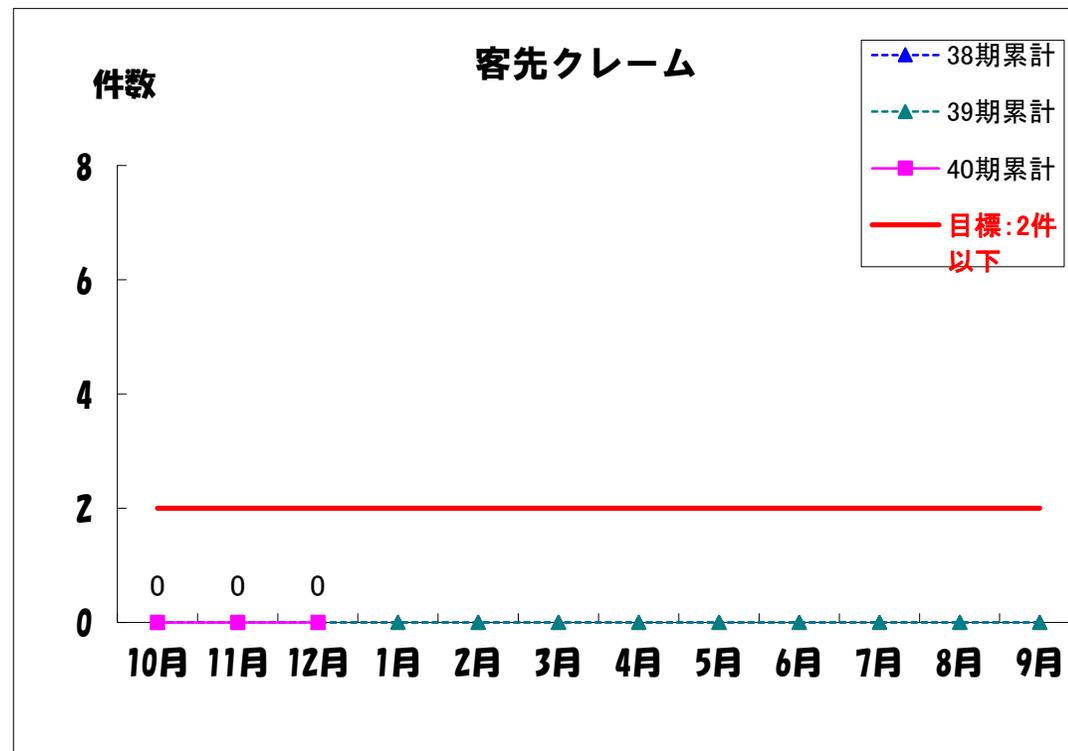
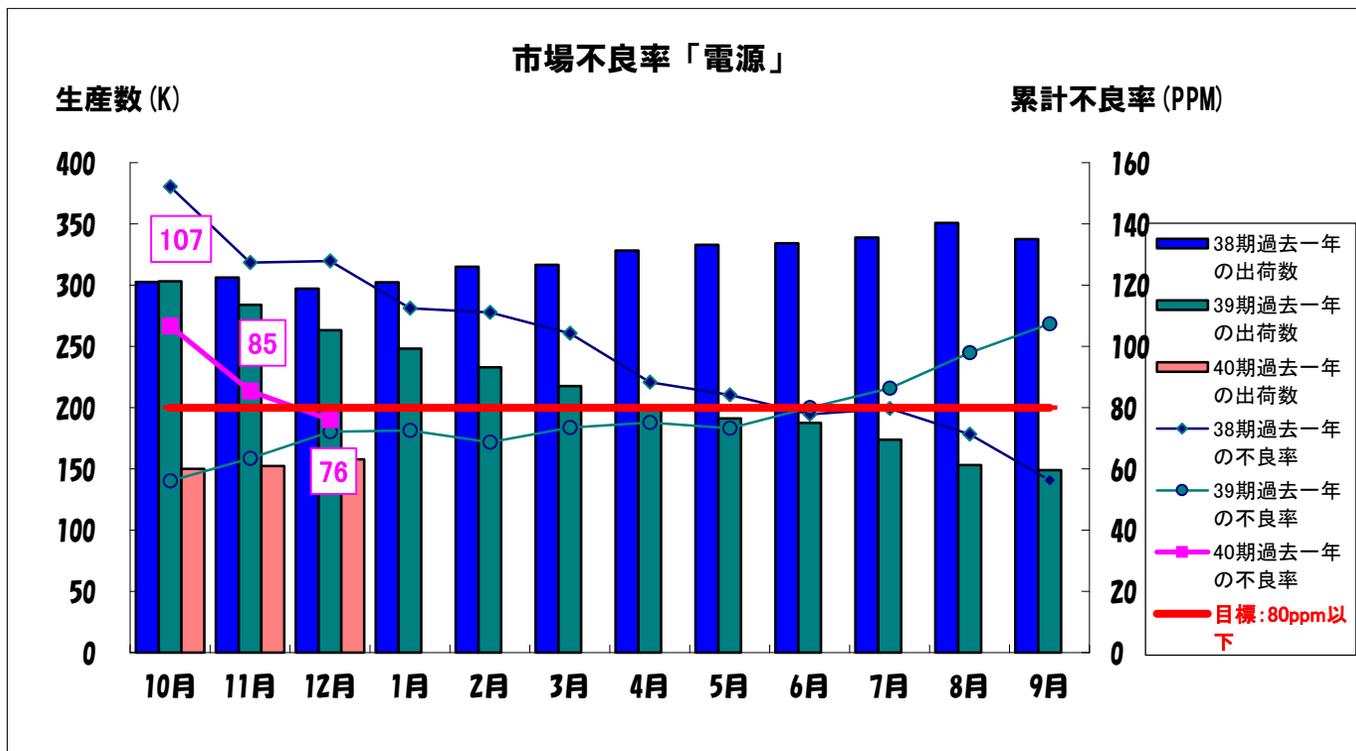
食べもので予防を考えるのはもちろん、習慣的な運動を心がけることも大切。無理のない範囲で、日々実践してみたいと思います。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

40期の累計不良率は、76ppm です。

市場不良累計(過去1年分) : 12件 客先クレーム : 0件



活動報告 (IT PJT)

■通信費のコストダウンについて

2017年12月に、通信費のコストダウン対策として、会社で利用している電話をPHSからスマホに変更しました。

キャリアはYモバイル（ソフトバンク）からAUへ変わりました。

今回の変更では、通信費のコストダウン（約140万円/年間）だけではなく、データ通信用に貸与されていたポケットWi-Fiも廃止することができました。

これまでは、PHS、ポケットWi-Fiの2台が貸与されていましたが、ポケットWi-Fiをスマホのテザリングという機能で代替することで、スマホ1台に集約することができ、結果として管理する機器が減りました。つまりスマホへの切り替えは、通信費のコストダウン、機器管理工数の削減という一石二鳥となりましたし、ユーザーの皆様も、携帯する機器が減ったことは朗報だった事と思います。

また、スマホには盗難や紛失した時に、遠隔地からスマホ本体のデータをすべて消去できる機能があるため、セキュリティも向上しました。とはいえ、各自、盗難や紛失の無きようお願い致します。

前述したテザリングによるデータ通信は、3GB/月から7GB/月と2倍以上増えました。これにより、月に2, 3回程度であれば、Skypeを活用したバーチャル出張も可能になりましたので同行出張のありかたについて見直しをお願い致します。

技術革新によって通信費も年々コストが下がり、今後も通信費が安くなり、データ通信スピードもさらに向上すると思います。通信インフラの技術革新と、その技術を使った様々なサービスやシステムで、通信費のコストが下がるとともに私たちの働き方も変わってくと思いますので、コストダウンと効率向上を永遠のテーマとして、今後も取り組んで参ります。

CSR Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②TOPICS
- ③廃棄物排出量
- ④コピー用紙使用量
- ⑤電力使用量
- ⑥切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



TOPICS

□ 世界のエコタウン フライブルク (Freiburg Green City)

ドイツ南西部、フランス・スイスの国境に近く位置するフライブルクは、石畳とゴシック建築の教会で美しい中世の面影を残す人口20万人の静かな都市です。ドイツでは二番目に古い伝統を誇るフライブルク大学は学生数約2,000人を抱え、学術的で若々しい雰囲気のあるこの町の中核をなしています。それ故フライブルクは大学の町、ゴシックの町と言われ、又、バーデン・ワインの特産地も控えている所から、ワインの町としても有名です。しかしながら、フライブルクの名を世界中に知らしめた最も重要な事は、ドイツの他の都市に先駆け、30年以上前から画期的な環境政策を推進した事にあります。

フライブルクは西側にライン河、東側にシュヴァルツヴァルト(黒い森)山地を控え、美しい自然に恵まれています。フライブルクでも、人間が自然と共生するエコポリスの実現に向けては30年以上前から様々な環境行政が試行錯誤されてきました。南ドイツで環境局という部門ができたのもフライブルクが一番最初で、現在ではフライブルク市内のみならず、バーゼル(スイス)・ミュルーズ(フランス)・コルマル(フランス)とも共同で「三国間地域システム政策(Regio 政策)」の核として、企業や民間の研究開発機関とも連携体制を取りながら環境政策を進めています。地球時代といわれる今日、この町には国際連合の機関「地方自治体の為の国際環境機関」(ICLEI)の欧州事務局が1992年10月に設置され、国際的なレベルでのエコポリスとしての性格を更に強めてきました。



TOPICS

□ フライブルクの環境への取り組みの歴史的背景

高度成長期、電力供給量が将来不足するという予測を元にバーデン・ヴュルテンベルク州は1971年、フライブルクから約30キロ離れたヴィールに原子力発電所を建設する計画を打ち出しました。これに対し、ヴィール周辺のワイン農家の人々は原子力への信頼性と必要性を問うためデモを行いました。この原発問題は1986年のチェルノブイリ事故を受けて農業従事者のみならず、学生や一般市民も巻き込んだ運動に発展、これがけとなってフライブルクでは原発に対してだけでなく、環境問題全般への意識が高まってゆきます。また、フライブルクでは他の都市と同様、1960年代からマイカー人口が増加し、1970年代には交通渋滞が深刻化しました。排気ガスによる大気汚染、さらに酸性雨によるルートの樹木の枯死などの悪影響が見られたため、市は環境にインパクトのない路面電車を中心とした公共交通網の構築に力を注いでゆきます。1984年には環境定期という画期的なシステムが登場しました。1986年にはドイツの都市の中ではいち早く環境保護局を設立。省エネやごみ対策など総合的な自然環境保全と経済発展の両立という思想の元、環境対策に取り組む事となります。1992年「自然と環境の保全に貢献した連邦都市」という称号を受け、フライブルクは「環境都市」として世界的に有名な都市になりました。



TOPICS

☑ 公共交通と自転車、徒歩の街

フライブルクは第二次大戦に空爆によって旧市街の約80%を失いました。戦後復興の際に、昔の町並みを再興することが選択され、細い石畳の道も再現されました。戦後、ドイツにもモータリゼーションの波は押し寄せましたが、フライブルク市は旧市街地への自動車進入を抑制。公共交通機関を中心に自転車、徒歩を利用する政策を取りました。

☑ ヴォーバン地区に見る街づくり

第二次大戦中にナチの駐留地であったヴォーバン地区は、1992年にフランスからドイツ連邦に返還されました。ドイツ連邦からこの地を入手したフライブルク市は新興住宅の建設を計画。1994年の設計競技で採択されたマスタープランに、トラムを中心とした自動車に依存しない交通計画や、豊かな自然環境を維持するための施策を加え、地域詳細計画を作成。この計画をもとに、住民参画のグループなどとの話し合いが何度も繰り返され、市民との合意によって、児童公園の配置や道路の幅という、詳細な部分までが決定されました。



旧市街では自動車の乗り入れが制限されている



自転車に連結する子供用リアカーも利用される



バスにはペットも同乗できる



カーレーがないので美しい町並み (ヴォーバン)



緑の帯と位置づけられた公園は風の道 (ヴォーバン)



石壁のある公園は緑の帯の一つ (ヴォーバン)

TOPICS

☑ 再生可能エネルギーを選択したフライブルク市

第二次大戦後、ドイツでは急速に経済が復興し、電力需要の急増という課題に直面しました。当時の西ドイツ、フライブルク市があるバーデン・ビュルテムベルク州でも、原子力の平和利用としてライン川周辺に多数の原子力発電所の建設が計画されました。1969年にはフライブルク市周辺の電力需要をまかなうために、ブライザッハ市に原子力発電所の建設が計画されました。しかし、市民は原子力ではなく再生可能エネルギーを選択しました。

☑ 子供たちへの自然教育

フライブルク市には環境教育に取り組んでいるさまざまな人たちがいます。その一つがドイツ環境自然保護連盟(BUND)です。エコステーション・フライブルクはBUNDの環境教育センターとして1986年に設立された、有機菜園を備えた低エネルギーハウスで、各所に環境に配慮した工夫がこらされています。子供たちは池や土の中に棲む生き物を観察して、そこに多くの多様な生物が棲んでいることを知り、有機菜園では果物や野菜だけでなくハーブについても学びます。エコステーションは子供たちの学びの場だけでなく、環境に関心のある人たちの交流の場ともなっています。



エコステーション・フライブルク

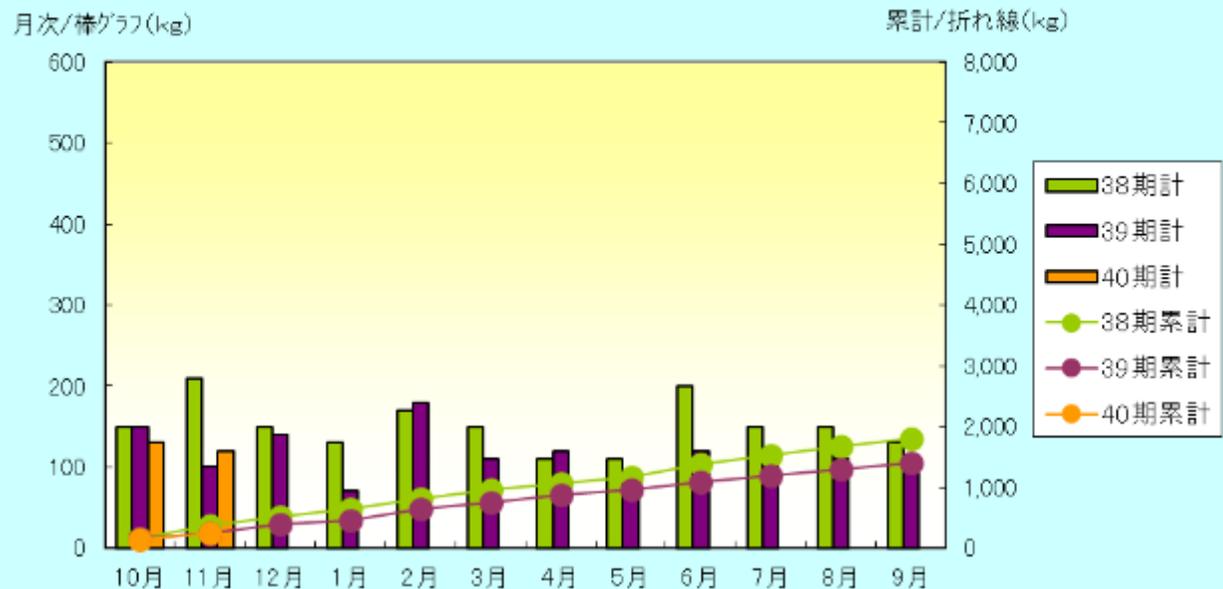


エコステーション・フライブルクでは、緑の教室が覗かれる

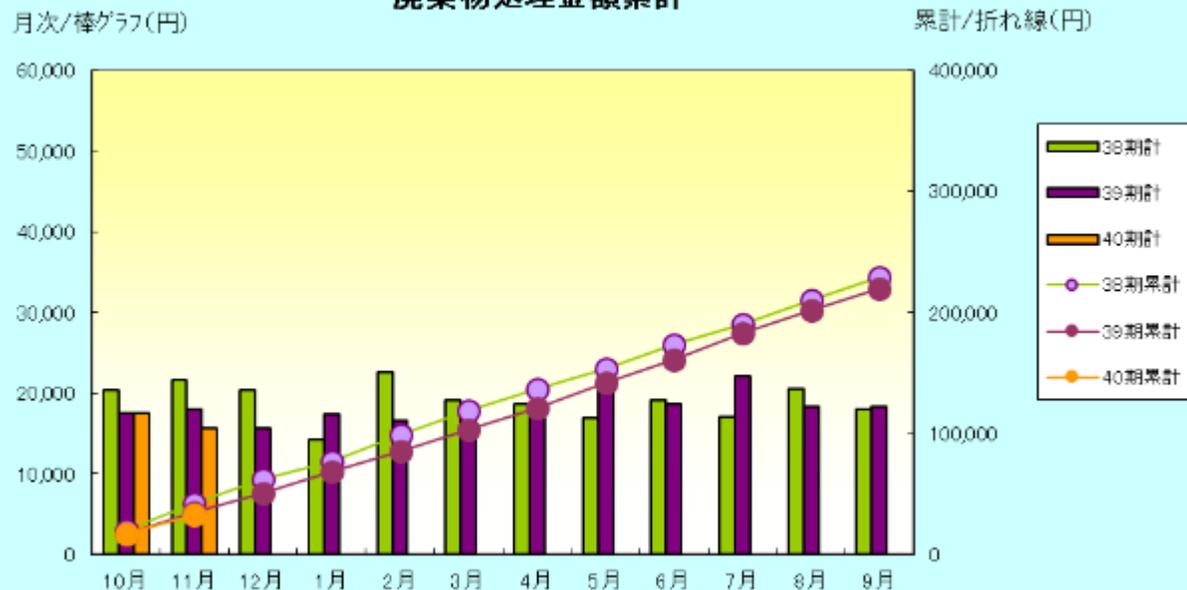


子供目録農場での乗馬

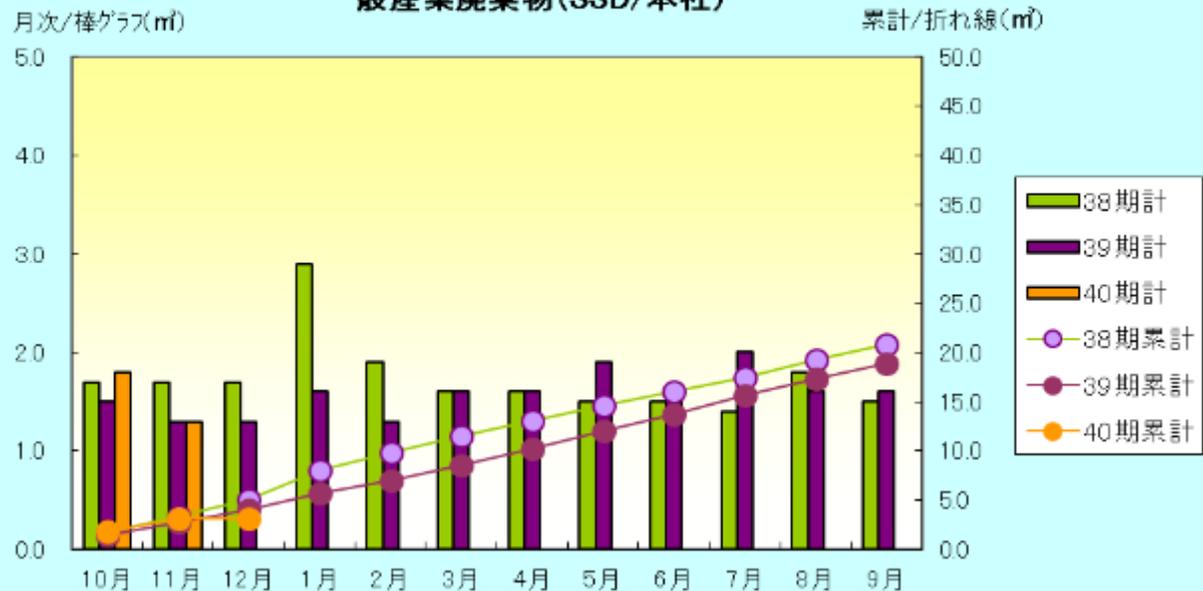
一般廃棄物(SSD/本社)



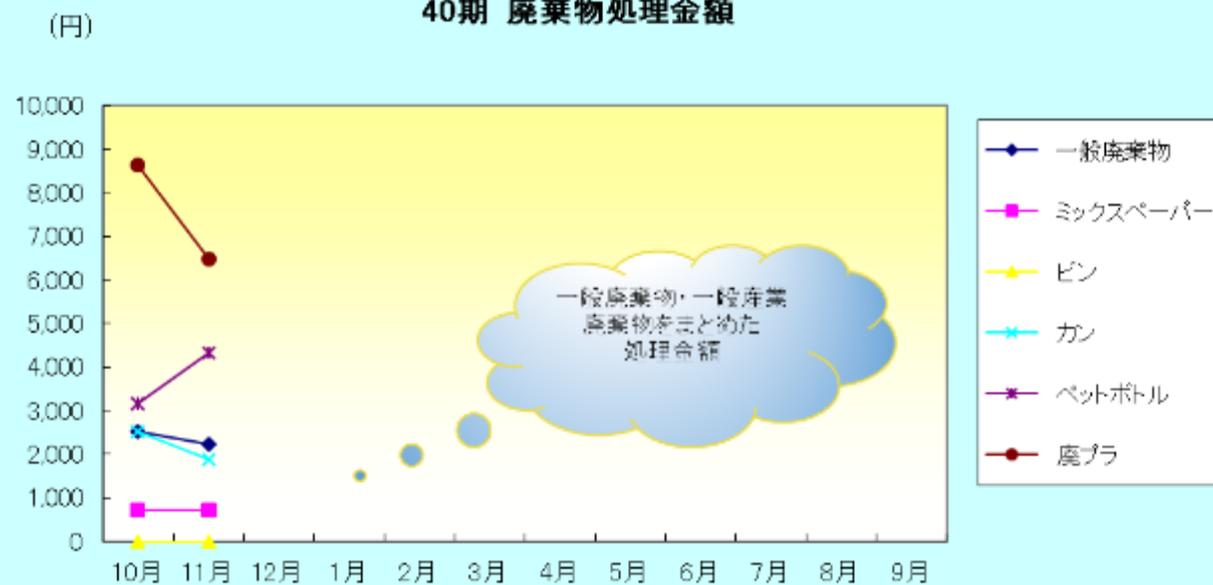
廃棄物処理金額累計



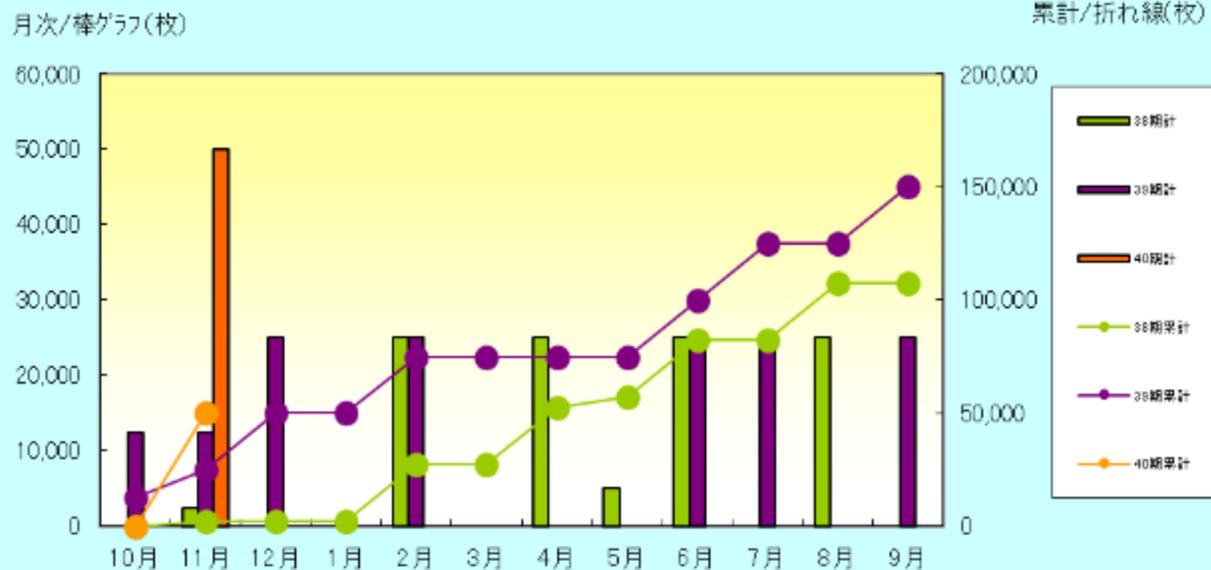
一般産業廃棄物(SSD/本社)



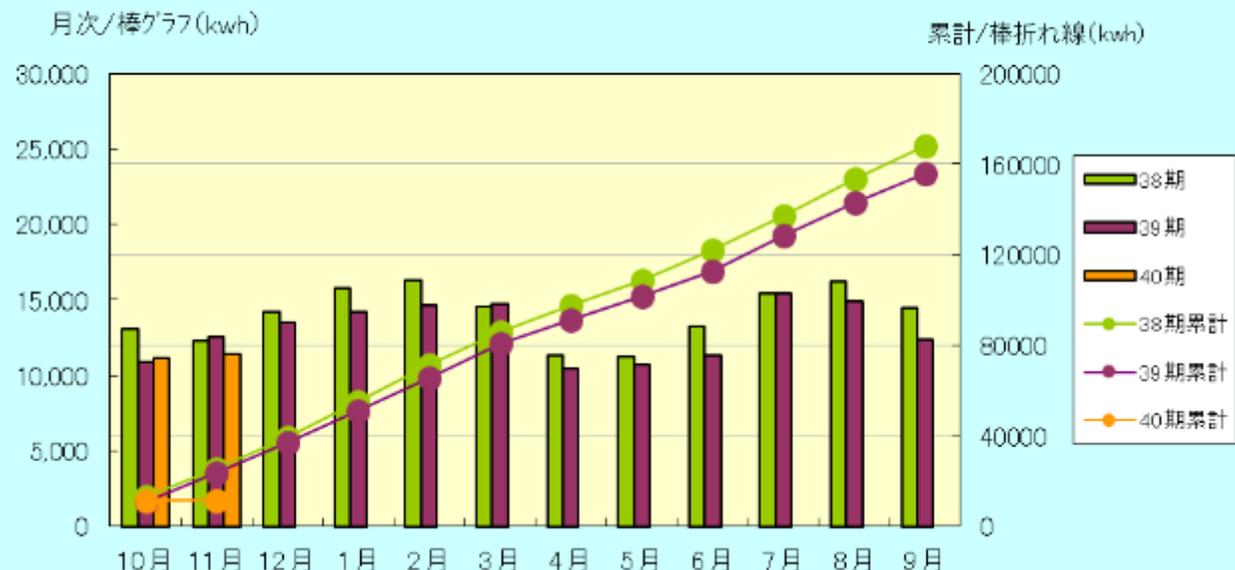
40期 廃棄物処理金額



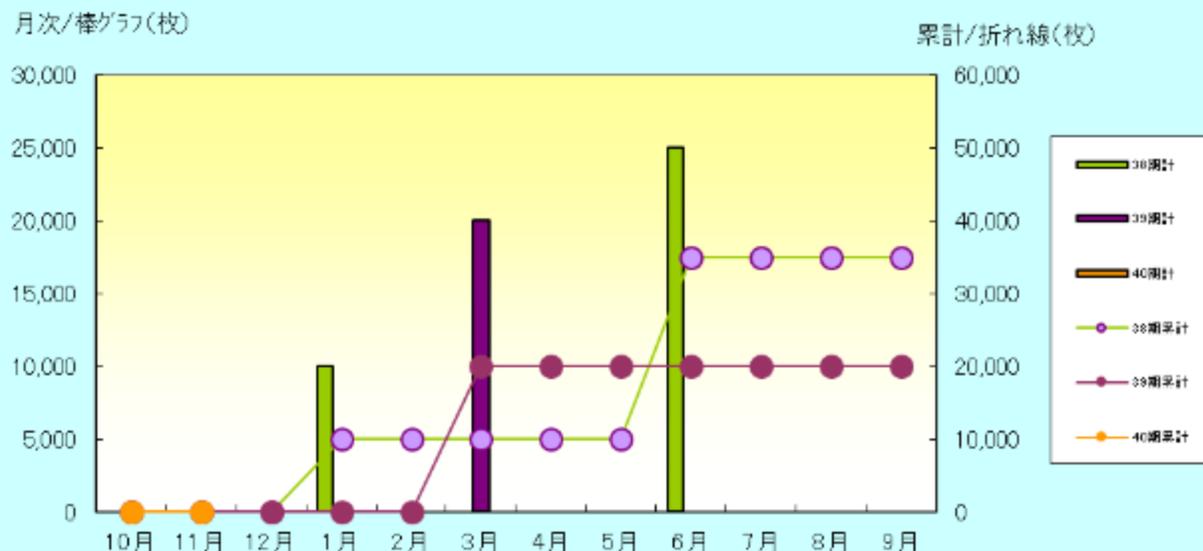
コピー用紙購入量(SSD/本社)



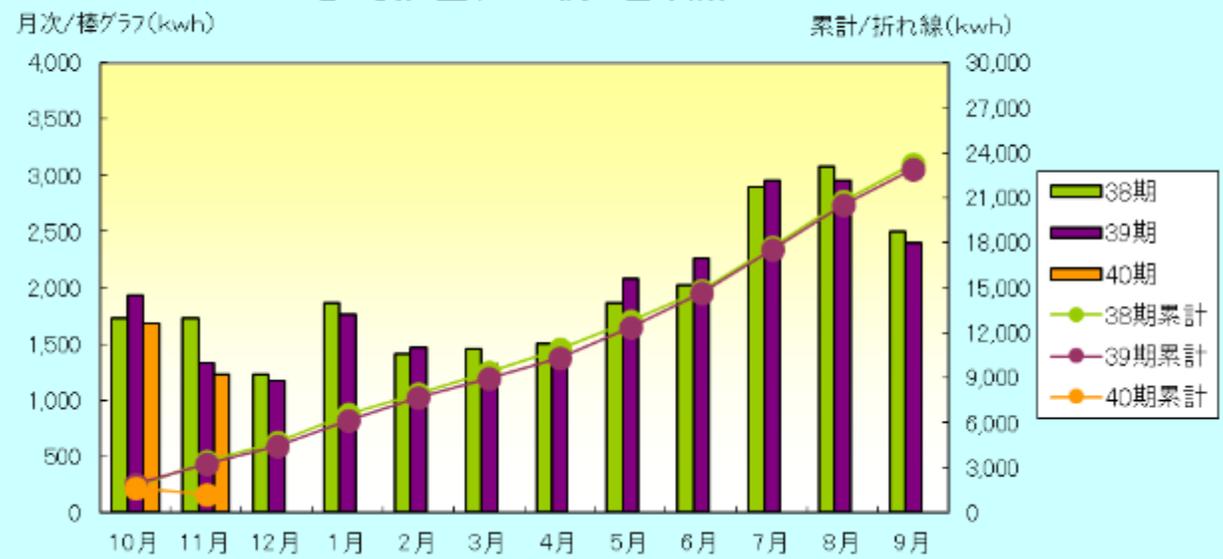
電力使用量(SSD/本社)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)



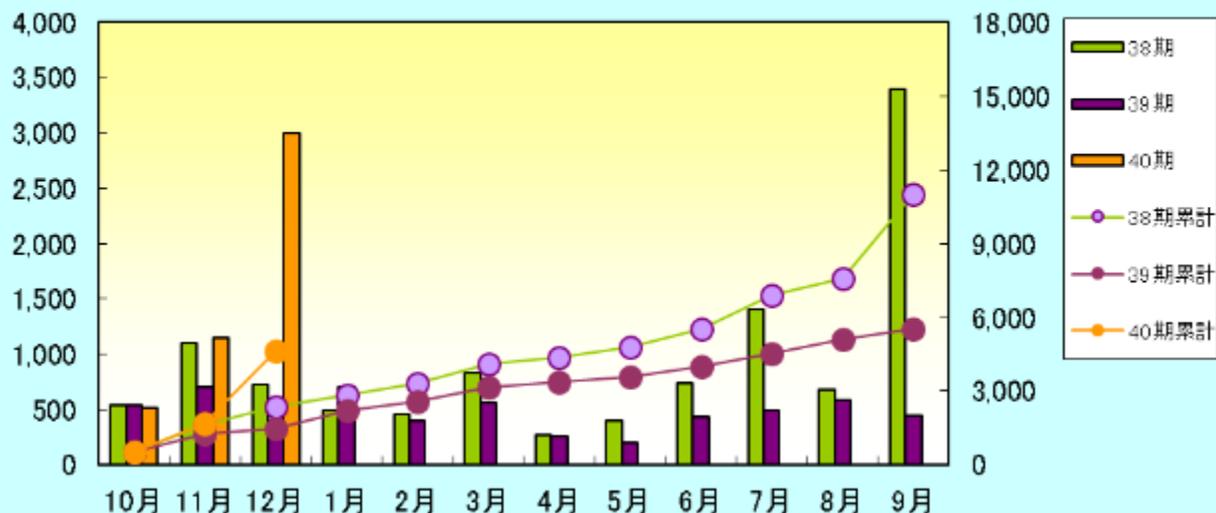
電力使用量(SSD/関西営業所)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

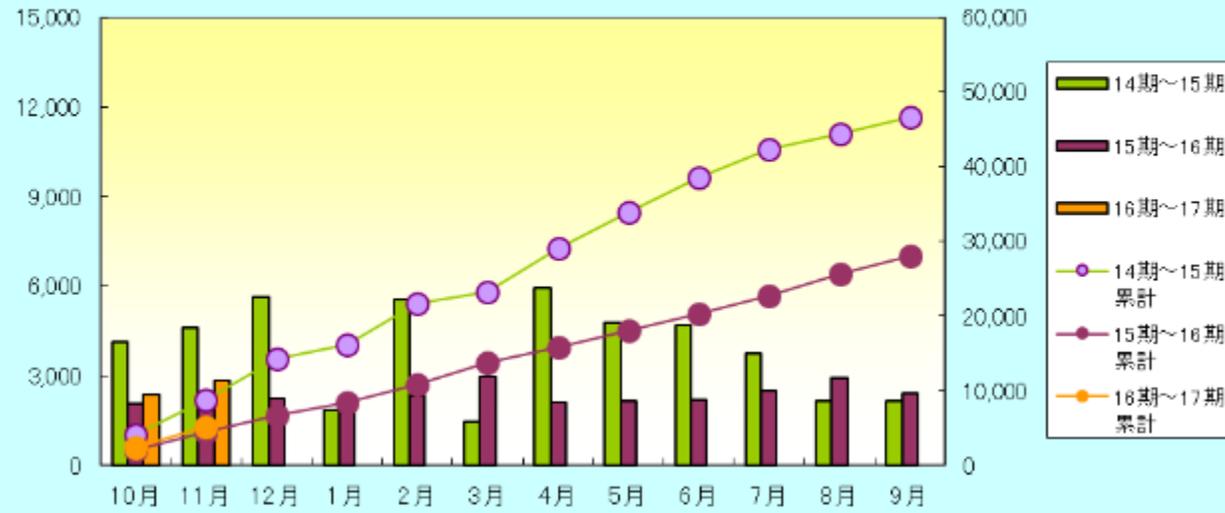
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

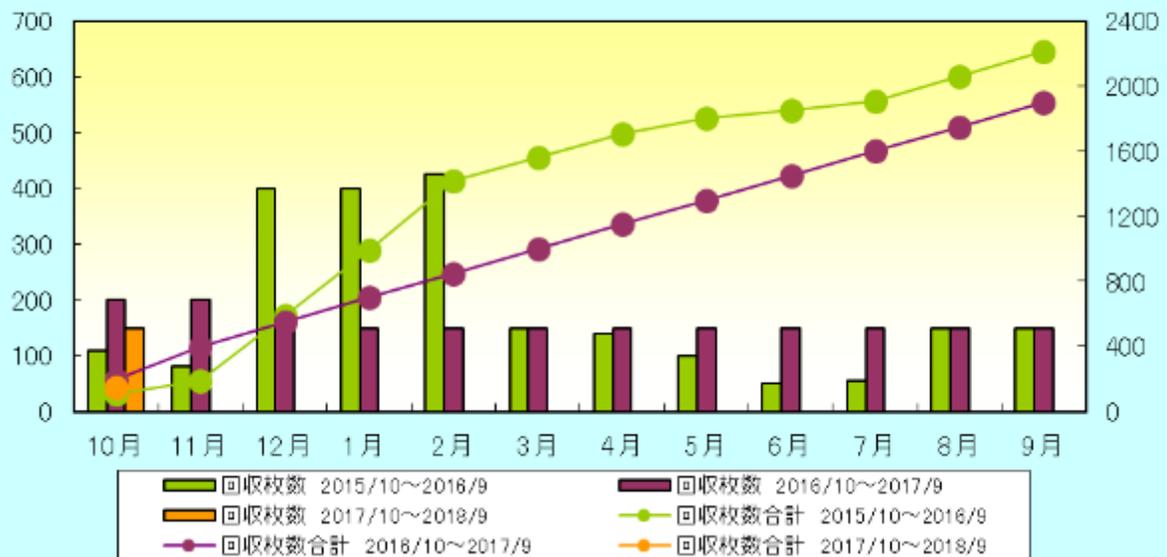
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

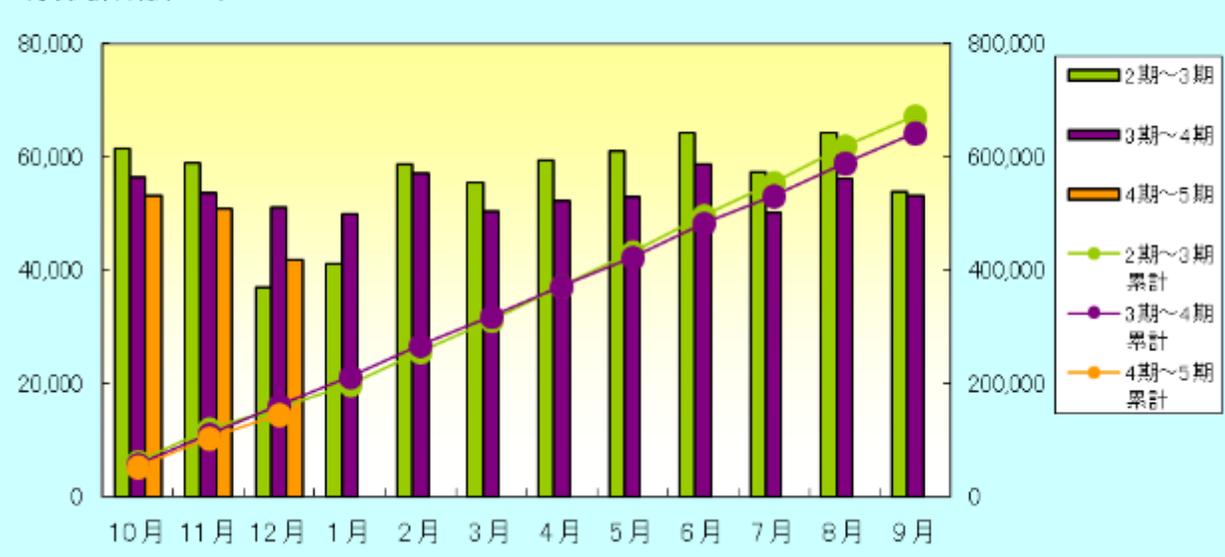
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

活動報告

- ①TOPICS
- ②地域貢献活動
- ③ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ④人財育成への取り組み

TOPICS

■ サンシン大学にて法務セミナー「企業におけるハラスメント対応」を開講致しました！

2017年12月6日及び2018年1月17日、サンシン電気（株）関西営業所及び東京本社にて、ホライズンパートナーズ法律事務所の弁護士 荒井里佳先生を講師にお迎えし、サンシン大学法務セミナー「企業におけるハラスメント対応」についてご講義頂きました。 サンシン電気(株)東京本社開催の講義は、同社・関西営業所、名古屋営業所、新光和(株)（千葉県八街市）、CEBU SHIN KOWA,INC.（フィリピン・セブ島）、在宅勤務社員へもWEBで同時配信されました。

現在、ハラスメントと名の付くものは、「セクハラ」「マタハラ」「パワハラ」「アカハラ」「ハラハラ（＝ハラスメント・ハラスメント。むやみに“〇〇ハラ”を主張すること）」など、40種類程度もあり、企業においても、正しい知識を持つこと、理解することが重要なことは言うまでもありません。講義では、企業における過去の事件の事例の紹介や、企業にとってのリスク、被害者・加害者対応含め、企業は実際にどのように対応すべきか等について、丁寧にご説明頂き、社員の意識改革、理解度の向上に繋がりました。

サンシングループでは、コンプライアンスカードに相談窓口・社外ヘルプラインを設け、問題発生の予防、対策に備えています。社員も企業もHAPPYであるための対応・対策を今後も展開して参ります。

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ9名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：門松、お正月飾り（1月）

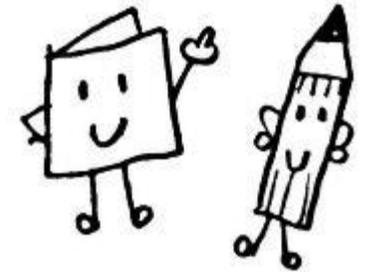


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養してる社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に毎月10名参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コース1（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2017年5月）
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2017（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年8月）
- 東京都より「平成29年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成29年度スポーツエールカンパニー」の認定取得（2017年11月・12月）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



編集
後記

Profit Centre Y.M

平成30年、西暦2018年がスタート致しました。本年もよろしくお願ひ申し上げます！！今年「戌年」です。この「戌」という漢字は、実は動物の犬を意味している漢字ではないということをご存知でしたでしょうか？もともとは「収穫した穀物を纏める」という意味に使われており、収穫期である「9月」を表す漢字だったそうです。十二支を庶民に分かり易く広めるために、難しい漢字に親しみやすい動物を当てはめたとき、「戌」に「犬」を当てはめたのが始まりだそうです。2018年度の戌年は、陰陽五行説の考え方からすると「戌戌（つちのえいぬ）」と呼ばれる年回りになるそうです。「経済格差がさらに広がる」「政治の混乱、政党の離散と新政党の誕生」「山火事や噴火に注意」などが予見されるそうです。皆さんにとって収穫の多い（実り多い）1年でありますように・・・！